

教授

澤本 卓治

さわもと たくじ



| | |
|-----------|--------|
| 取得学位 | 博士（農学） |
| 研究室・ユニット名 | 土壌環境学 |
| | 温室効果ガス |
| 研究キーワード | |

フィールドにおける温室効果ガス発生モニタリング

研究の概要・特徴

私（澤本卓治）はこれまで農業現場あるいは自然生態系のフィールドから発生する温室効果ガスをモニタリングする研究に従事してきた実績がある（アピールポイントの論文を参照）。

また、当研究室には、地球温暖化の原因と考えられている重要な三種の温室効果ガス（二酸化炭素 CO₂、メタン CH₄、および、一酸化二窒素 N₂O）の濃度を、大気濃度レベルからその10～100倍程度までの範囲で精度良く測定できるガスクロマトグラフ（ガスクロ）を2台保有している（画像を参照）。

ガスクロ（CO₂とCH₄を同時測定）ガスクロ（N₂O測定）

産業界等へのアピールポイント（用途・応用例等）

実績に関する論文のご紹介 （1）土壌表面からの温室効果ガス発生：Soil Sci. Plant Nutri., 46, 31–42 / 日本土壌肥科学雑誌, 71, 659–665 / Soil Sci. Plant Nutri., 56, 186–199 / など （2）水に過飽和で溶存している温室効果ガスの測定：Soil Sci. Plant Nutri., 48, 433–439 / Soil Sci. Plant Nutri., 49, 31–38 / Geophysical Research Letters, 32, L03403 / 環境科学会誌, 23, 191–197 / など
（3）貯留されている家畜ふん尿から発生する温室効果ガス：Animal Science Journal, 87, 827–834

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS2030年までに
世界の目標として
国際社会が共通認識を
持つこと

研究シーズ一覧